

## 編集後記

梅雨明けの後一転猛暑が続いています。学期末に突入して忙しい日々かと存じます。

本号では二篇の研究成果を掲載しています。岡村陽子論文では遂行機能障害者を知的機能高群と知的機能低群に分けて、遂行機能障害・知的機能・記憶の状態について検証しています。学外のリハビリテーション病院センターの協力を得て、フィールドワークを活用しております。

菊地健三論文はカントの「哲学的脳理論」について、多くの矛盾点を考察しています。カントの「脳理論」における「身体」と「魂」の問題が、彼の「哲学体系」にも重なるものと推論しております。

編集子周辺も秋に向けて、学会や文化財の公開・シンポジウムの計画を進行中で、刺激的な成果を期待しております。

(こ)

## 執筆者紹介

岡村 陽子 経済学部講師

菊地 健三 経済学部教授

専修大学人文科学研究所月報

第 236 号 (2008.7.31)

〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田 2-1-1

専修大学人文科学研究所

発行者 内 藤 雅 雄